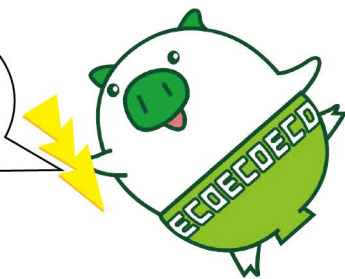


# 福岡県のエネルギー

福岡県では、地球に優しく、安定してエネルギーが使える環境づくりに取り組んでいるよ。わたしたちの身近なエネルギーについて学んでみよう。



## 身近なエネルギー

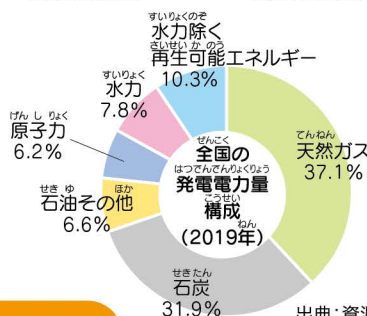
### エネルギーってなんだろう？

明かりをつけたり、お湯を沸かしたり、車を動かしたりする力のことを「エネルギー」というよ。「仕事をする力」ともいうんだ。



### エネルギーはどうやってつくるの？

わたしたちにとって一番身近なエネルギーは電気だね。電気の多くは天然ガスや石油、石炭を燃やしてつくるんだ。天然ガスや石油、石炭には限りがあるから、大事に使わないといけなないね。



石油は残り約50年で使い終わってしまうといわれているよ。



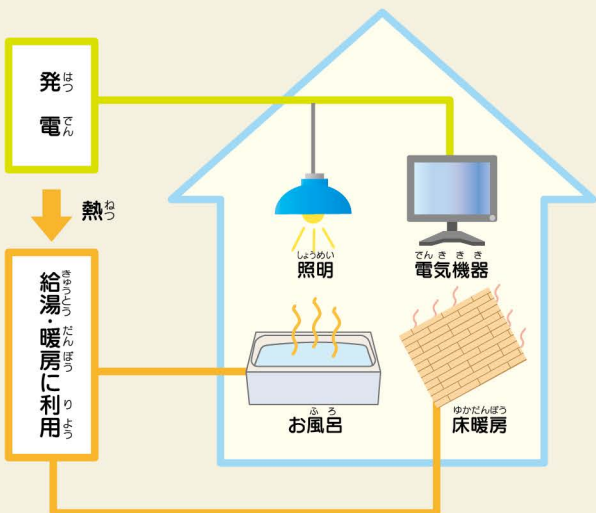
出典：資源エネルギー庁HP 公開資料(県で一部加工)

### これからのエネルギーを見てみよう

#### エネルギーを無駄なくかしく利用 「コージェネレーションシステム」

コージェネレーションシステムとは、電気と熱を同時につくるシステムのことだよ。

電気をつくり、その時に出る熱で部屋を暖めたり、お湯を沸かしたりすることができて、とても環境に優しいんだ。



#### 自然からつくるエネルギー 「再生可能エネルギー」

太陽や風、川を流れる水の力などでつくれるエネルギーのことだよ。

電気をつくる時に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さないし、資源がなくなることを心配しなくていいんだよ。



国の制度で新しくつくられた県内の再生可能エネルギー設備容量は全国7位で福岡県はとても進んでいるんだ。

太陽の光から電気をつくる  
**太陽光発電**

北九州市 市民太陽光発電所 (北九州市)

風の流れで電気をつくる  
**風力発電**

響灘風力発電所 (北九州市)

水の流れで電気をつくる  
**水力発電**

白糸の滝 小水力発電所 (糸島市)

木や生ごみなどで電気をつくる  
**バイオマス発電**

おおき循環センター「くるるん」(犬木町)

